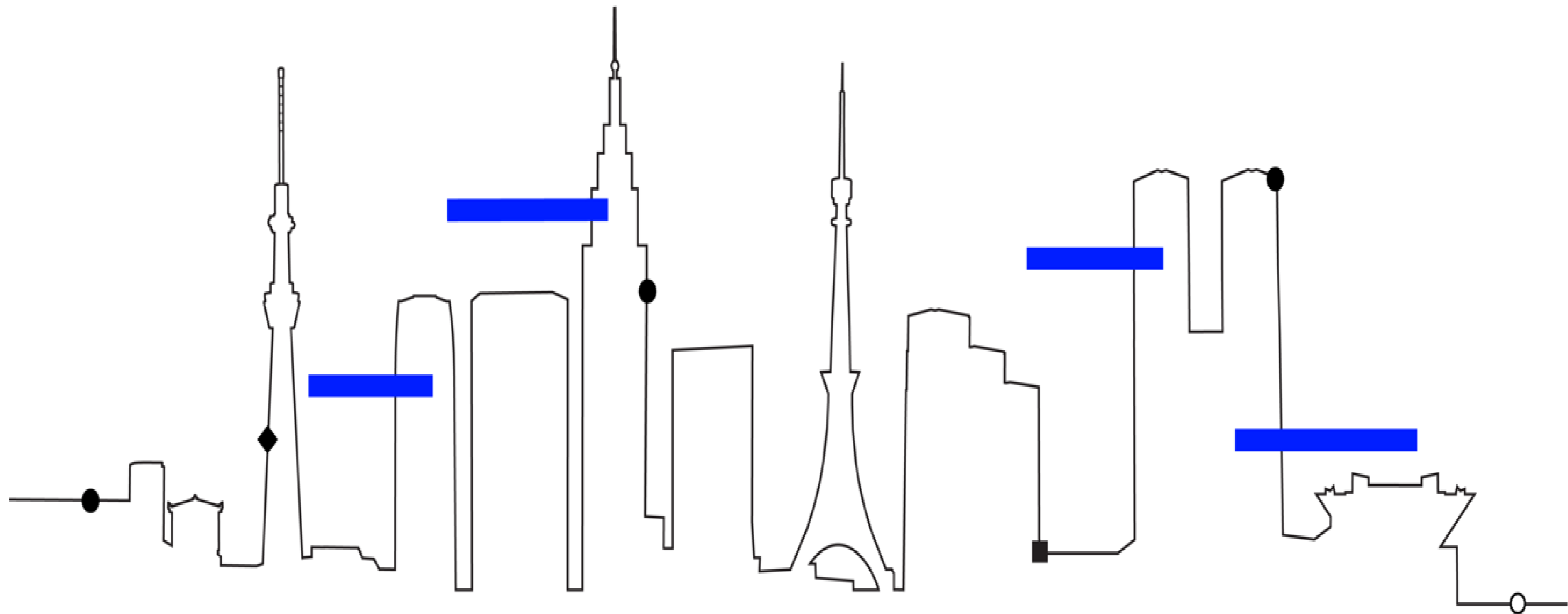


日本 中規模市場 M&Aレビュー

2020年 | フィナンシャル・アドバイザー



日本 中規模市場 M&Aレビュー

2020年 | フィナンシャル・アドバイザー

中規模市場 M&A案件情報概要

日本 中規模市場 M&A 6%増加

2020年の5億米ドル以下(金額非開示案件を含む)の日本関連M&A公表案件は、計486.3億米ドルと前年から5.9%増加し、2012年以来最高水準となった。一方、案件数は4,260件に達し過去最多となった。

ハイテクノロジーが首位

5億米ドル以下(金額非開示を含む)の案件をターゲット側の業種別で見ると、ハイテクノロジーが前年比9.5%増となる99.4億米ドルと、全体の20.4%を占めて首位に立った。2位は工業で、前年比12.8%増となる62.7億米ドル、3位はヘルスケアで55.1億米ドルを記録した。

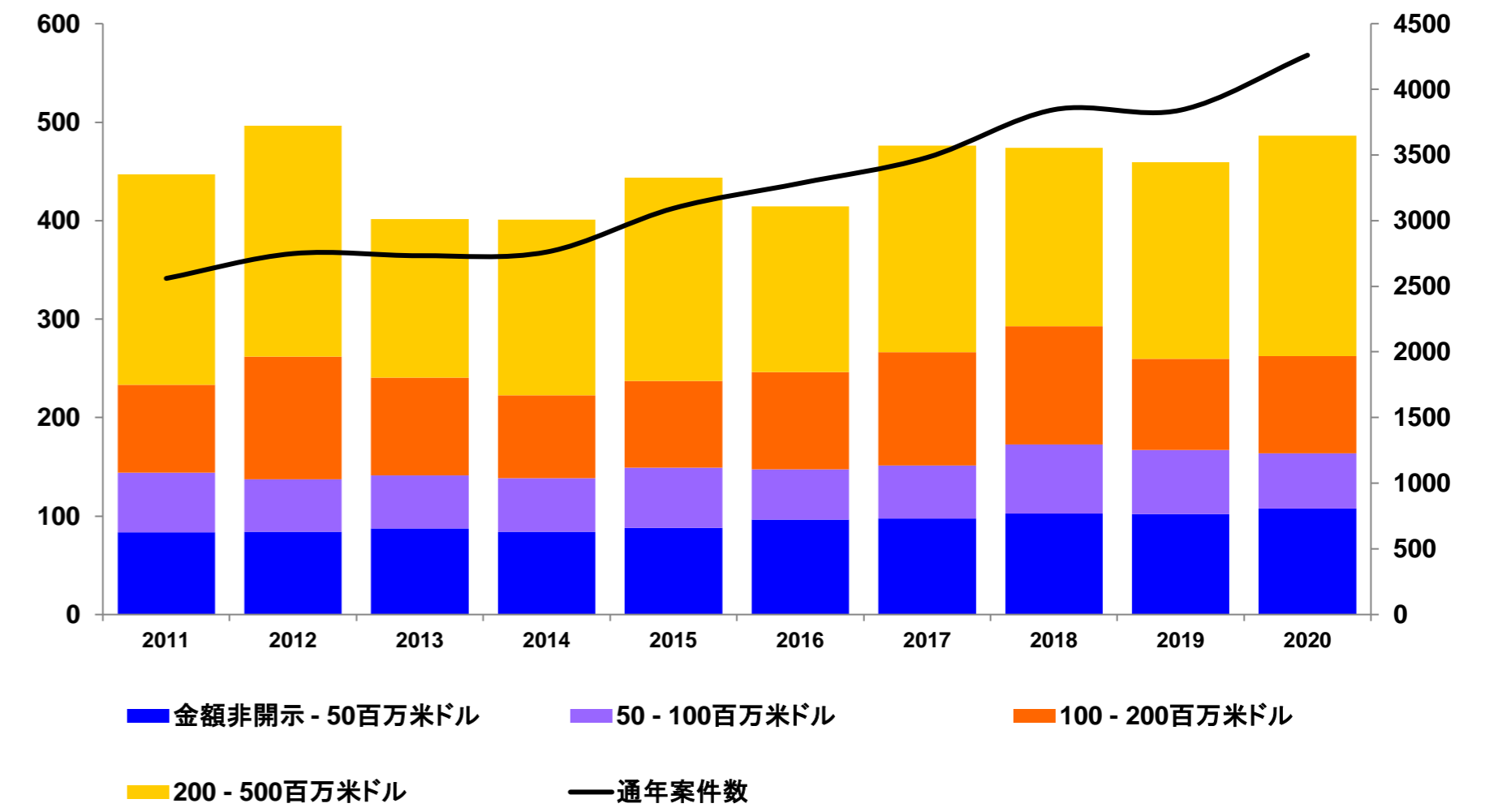
国内案件 2%微減 クロスボーダー案件 4%増加

5億米ドル以下の国内案件(金額非開示案件を含む)は、前年比1.9%減少となる212億米ドル、2016年以来の低水準となった。一方、案件数は3,875件に達し、過去最多となった。クロスボーダー案件は、前年から3.6%増となる233.6億米ドルで、2017年以降で最高水準となった。

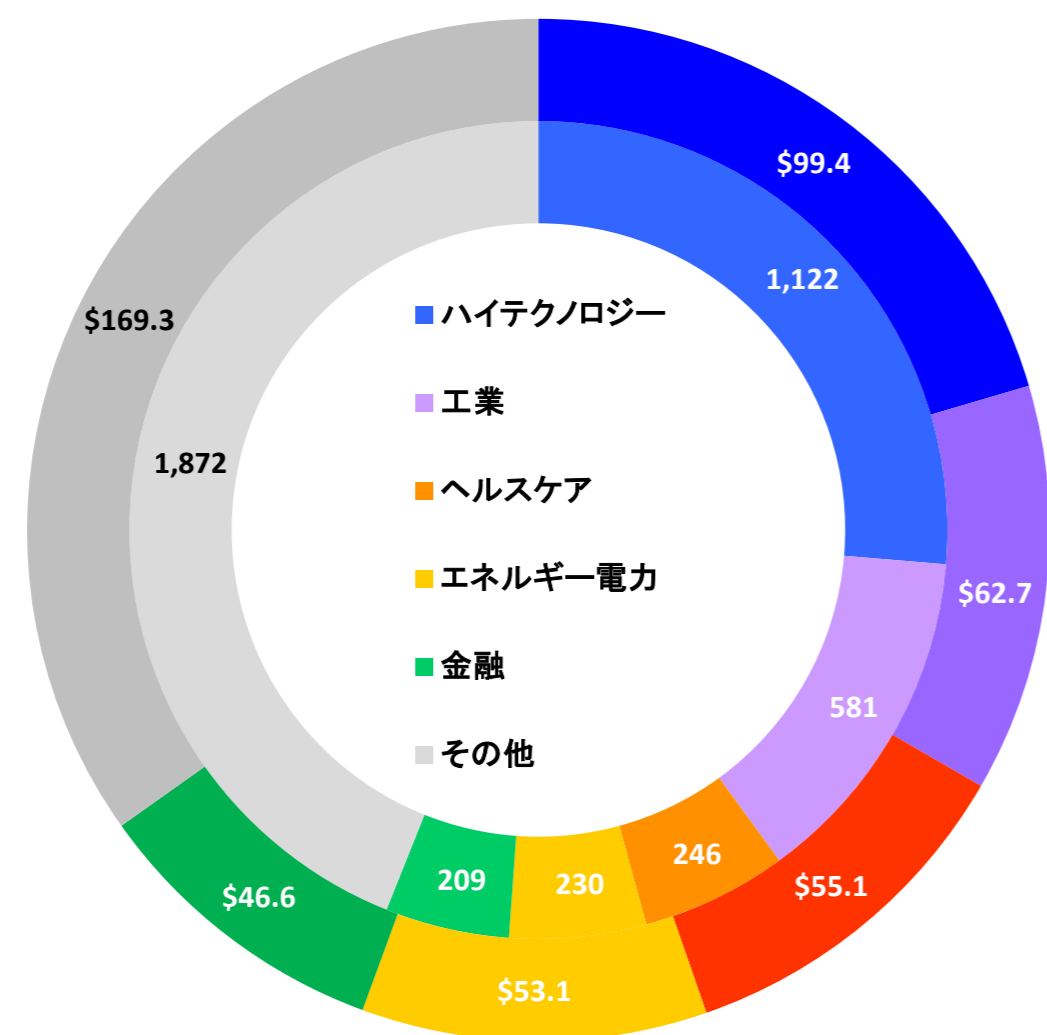
トップアドバイザーは野村

2020年日本企業関連の5億米ドル以下のM&Aリーダータブルは、野村が64.2億米ドルと2年連続の首位、2位は三井住友フィナンシャルグループ(43.2億米ドル)、3位はデロイト(30.7億米ドル)となった。案件数ベースでは、三井住友フィナンシャルグループが118件が2連覇となり、2位はデロイト(88件)、3位はKPMG(78件)であった。

中規模市場M&A デールサイズの構成比(5億米ドル以下) (億米ドル)

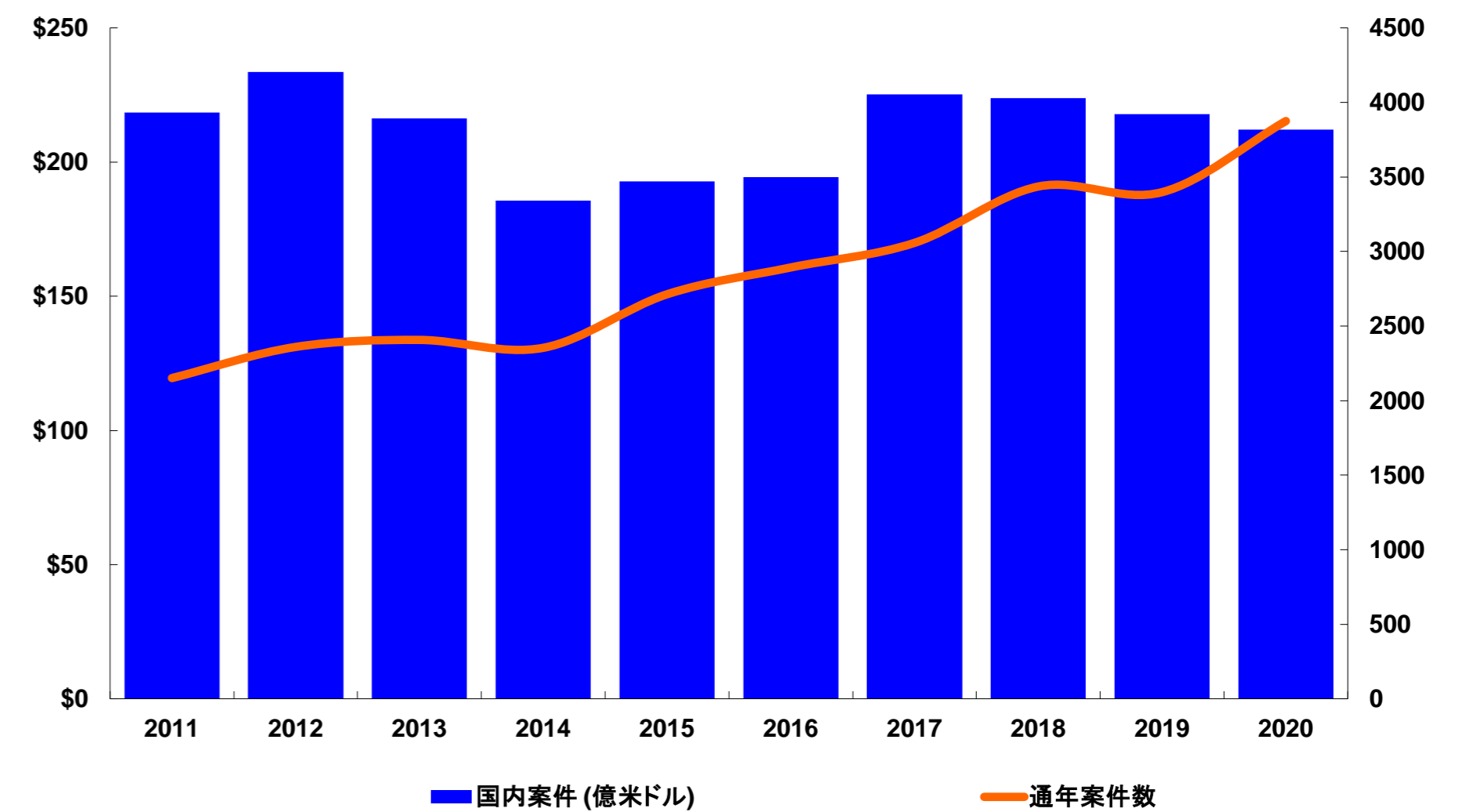


中規模市場M&A ターゲット側上位5業種(5億米ドル以下)



外輪: ランクバリュー(億ドル)
内輪: 案件数

中規模市場M&A 国内案件(5億米ドル以下) (億米ドル)



中規模市場 日本Mergers & Acquisitions クライテリア

2020年 | ファイナンシャルアドバイザー

プレスリリースに関してのお問い合わせ先:

広報担当: 藤森 英明
Tel: +81(3) 6441 1504
E-mail: JapanPR@refinitiv.com

クライテリア及び案件に関するご質問、M&Aリーグテーブルのご参加、またプレスリリースご送付に関するお問い合わせ先:

本橋 馨
Tel: +813 6441 1338
E-mail:
kaori.motohashi@refinitiv.com

公表案件ベースのリーグテーブル・ランキングは、リフィニティブが認識している2020年1月1日から2020年12月31日の期間に公表された案件を対象としており、今期および昨年の全てのデータは、日本時間2021年1月15日午前10時に抽出したものである。ランキングにおける取引金額はすべて米ドルで表示され、不動産案件は除外している。

リーグテーブル対象となるのは、合併、買収、市場を介さない自己株式取得、スピンオフ、公開買付による自社株買い、少数株主持ち分(50%以下)の株式取得、及びデット・リストラクチャリング案件である。

公開買付・合併案件は、その案件が完了した日付をもって有効と見なす。

取引金額のついていない場合も対象案件となり、その場合取引金額は表示されない。

案件に関与したファイナンシャル及びリーガル・アドバイザーは、少数株主やジョイントベンチャーパートナーの代表、案件の一部のみに加わった場合、もしくはリフィニティブが案件の参加者について認識していない場合を除き、フル・リーグテーブル・クレジットが付与される。

関連リーグテーブルは、被買収側、買収側、あるいは最終親会社のいずれかが特定の地域や国籍にある案件が含まれる。相対取引による持分取得案件の売り手および売り手の最終親会社の国籍も地域別クレジットが付与される。

リーグテーブル、コメント、チャートはランク日ベースで作成され、案件ステータスが Intended (買収の意思表示があったもの)、Pending (継続中)、Partially Completed (部分的に完了)、Completed (完了)、Pending Regulatory (関連官公庁承認待ち)、及び Unconditional (無条件) の案件を対象とする。ランク日は案件の取引金額が最初に公表された日と定義する。

ここに掲載の三菱UFJファイナンシャル・グループおよびモルガン・スタンレーのリーグテーブル・クレジットは、日本における合併会社(三菱UFJモルガン・スタンレー証券及びモルガン・スタンレーMUFJ証券)の設立後の状況を反映している。新設合併会社のクレジットはモルガン・スタンレーへ集計されている。日本企業関連のリーグテーブル上では、モルガン・スタンレーは「三菱UFJモルガン・スタンレー」として表示されている。

リフィニティブは本書で提供される情報が、発行時点において正確であり、最新のものであることを確保するよう合理的な努力をしていますが、リフィニティブ又はリフィニティブの第三者コンテンツ・プロバイダーも、本書に含まれる情報の誤謬、不正確又は遅延、或いはそれらに依拠してなされた行為についても、何らの責任も負うものではなく、また、第三者コンテンツ・プロバイダーの如何なる見解又は意見を是認するものではありません。法律により認められる限度において、リフィニティブは明示又は黙示を問わず、提供されたコンテンツの正確性又は完全性、或いは如何なる目的における目的適合性に関する保証をすべて明示的に排除します。本コンテンツを取引又は売買を行う際意思決定の目的で使用することは適切ではありません。本コンテンツは投資助言となる投資、税金、法律等のいかなる助言も提供しません。また、証券の売り買い等を含む、特定の金融の個別銘柄、金融投資あるいは金融商品に関するいかなる勧告もありません。リフィニティブは、本書に関連した、如何なる者による又は如何なる者に対する証券の売り買いに関し、責任・義務を負いません。本書に表示されるグラフ又は図の複製を希望される場合、藤森英明 (JapanPR@refinitiv.com) 又は media.support@refinitiv.com までお問い合わせ下さい。

© 2021 Refinitiv. All rights reserved.

